

## ●飲酒について

2008年から2021年までの12年間で、飲酒事故により41人の命が失われました。(特定非営利活動法人アスク調べ) 本学においても、2008年に飲酒事故で1名の尊い命が奪われました。このような悲惨な飲酒事故を二度と繰り返さないという強い決意に基づき、本学では独自の飲酒ルールを定めました。飲酒に関する法令・マナーとあわせて、厳守してください。

### 1. 神戸学院大学の飲酒ルール

#### (1) 共通ルール

本学の20歳未満の者が同席する場合は、20歳以上の者(教職員を含む。)も飲酒を禁止する。

#### (2) キャンパス内ルール

①学内全域で飲酒は禁止する。ただし、事前に所定の願書により学生支援センター所長の許可を特別に得た場合(学内厚生施設で開催される行事で、教職員同席の下で参加者が20歳以上の者のみで構成される場合)は除く。

②酒気帯びや飲酒状態でキャンパス内に入ることを禁止する。

#### (3) 課外活動ルール

課外活動の合宿中は、全関係者(顧問・監督・コーチ等の指導者・20歳以上の者含む。)の飲酒を禁止する。

#### (4) ゼミ旅行、学外見学・研修、海外見学・研修旅行時のルール

教職員が同席し、かつ、参加する学生がすべて20歳以上の者である場合を除き、一切の飲酒を禁止する。なお、海外見学・研修において、一般的とされている儀礼や交流の趣旨・目的が尊重されるべき状況においては、引率教員が良識の範囲において適切に判断する。

### 2. 飲酒に関する法令・マナー

#### (1) 20歳未満の者の飲酒は禁止。周囲の大人には監督義務がある。

20歳未満の者の飲酒は、心身に重大な悪影響を及ぼすため、法律で禁じられています。また、20歳未満の者の飲酒で罰せられるのは、監督義務のある周囲にいた大人です。

#### (2) イッキ飲み等の飲酒の強要は人権侵害です。

飲酒の強要(アルハラ)は人権侵害です。命を奪ったり、傷害等の犯罪に発展したりする可能性のある極めて悪質かつ危険な行為です。

#### (3) 飲酒運転は悪質な犯罪です。

酒を飲んでの運転は運転能力を低下させ、重大な事故の原因となります。自転車も車両であるため、飲酒運転に含まれます。

#### (4) 下宿先、飲食店等での大騒ぎはマナー違反です。

課外活動、ゼミ等の打ち上げにおいて、飲食店や地域の方に迷惑をかける行為は許されません。深夜の大騒ぎは問題外です。

### 3. 飲酒に関する医学的な知識

#### (1) 酔った状態とは

アルコールは麻酔作用により脳を麻痺させ、酔った状態をつくります。酔いの程度は脳内のアルコール濃度により決まります。

#### (2) アルコール代謝能力とは

飲んだお酒は肝臓で処理されます。普通の人(体重60~70kg)がビール中びん1本飲んだ際の処理には4時間程かかります。日本人は欧米人と違って、半数近くがお酒に弱い体質のため、飲んだ直後は何となくでも次第に気分が悪くなってきます。

#### (3) 過剰飲酒による健康被害

①過剰飲酒を続けるとアルコール依存性になります。お酒が切れると、イライラしたり汗をかいたり手足が震えたりします。  
②過剰飲酒は、肝臓障害だけでなく、脳、心血管系、十二指腸、小腸、大腸、骨など、さまざまな内臓疾患の原因となります。

#### (4) 20歳未満の者の飲酒が危険な3つの理由

①発育途上の脳細胞を破壊します。脳を萎縮させたり、記憶に関する脳組織に障害を与えたりする可能性があります。集中力や学習意欲の低下、精神的成長を阻害します。成績不振、退学など学生生活に支障をきたすケースにつながります。  
②肝臓やすい臓など臓器障害を起こすおそれがあります。また、性ホルモンのバランスを崩し、成長を妨げることもあります。  
③飲み始めが早ければ早いほど、アルコール依存症になる確率が高いと言われています。

### 4. 命を救う適切な対応

#### (1) 急性アルコール中毒を発生させない。

短時間で大量のアルコールを摂取すると、体内でのアルコール処理が間に合わなくなり「急性アルコール中毒」となります。伝統やしきたりでのイッキ飲み、ソフトドリンクを用意しない、飲酒を断れない雰囲気づくりは絶対にやめてください。

#### (2) 酔いつぶれた人への適切な介抱

①酔いつぶれた人を絶対に一人にしない。横向きに寝かせ、血液循環の悪化を防ぐために、約30分おきに体を反転させる。  
②吐きそうになったら、吐瀉物による窒息を防ぐため、横向き(回復体位)の状態で吐かせる。  
③衣服をゆるめて、楽にしてあげる。  
④体温低下防止のために毛布等をかけて温かくして寝かせる。

#### (3) 救急車を呼び必ずアラム信号もゆす

①大いびきをかき、強くつねっても、ゆすっても呼びかけても反応がない  
②倒れて口から泡を吹いている ③体温が下がり全身が冷たい  
④呼吸が異常に早くで浅い。時々しか息をしない  
⑤大量の血を吐いた ⑥失禁している

**異常を感じたら、ためらわずに、素早く119(救急車)へ通報!**